



# smilehair大泉学園店では、 ワークライフバランス推進の一環として 仕事と介護の両立に向けた取り組みを 行っています

平成27年9/16～10/15に仕事と介護に関する従業員のニーズ調査を実施しました。  
調査で判明した課題について、プロジェクトチームを設置し、働き方の見直し等について検討を行いました。検討結果及び今後の取り組みについては以下の通りです。

## 現状の課題

- ・従業員の平均年齢が22歳～23歳なので介護に関する認知度が低い
- ・全従業員のご家族・親族が健在であるために今後介護する必要がないと思われる
- ・今後起こりうるかもしれない急病や事故などにおける介護に関しての危機感を持っていない

## 検討状況

- ・仕事と介護の両立に関してのプロジェクトチームを設置し、介護に対する認知度、興味関心を高めていきます

## 今後の取り組み

- ・社内研修会の開催による介護に関する情報提供および情報交換会の実施  
(計画期間等:平成27年度から毎年1回程度開催)
- ・介護相談員との個人面談の実施  
(計画期間等:平成27年度から希望者のみ随時実施)

仕事と介護の両立のための支援制度(在宅勤務制度)の検討  
(計画期間等:平成27年度…在宅勤務制度の導入検討  
平成28年度…在宅勤務制度の試行的導入)



きっと来る その日に備えて



# ニーズ結果報告書

## 調査対象

対象: 都内一般従業員

調査方法: 匿名、書面による提出

調査機関: 9月15日～10月14日

## 調査結果

### (1) 現在の介護の状況と今後の見込み

- ・ 回答者全員が、「介護した経験がない」と回答
- ・ ほとんどの回答者が、「今後5年間のうちに、ご家族・親族を介護することはない」と回答  
(少数者が、介護する可能性が少しあると回答)

### (2) 介護が発生した際の働き方

- ・ 「あなたが介護することになった場合、どのような働き方が望ましいと思いますか」という質問に  
「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」の回答率が**25%**  
「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら仕事と介護を両立する」の回答が**75%**

### (3) 介護に関する支援制度について

- ・ 「あなたの勤務先の介護に関する支援制度について、どの程知っているのですか」の質問に  
回答者全が「制度があるかどうか知らない」と回答
- ・ 「あなたは、公的介護保険制度のことについてご存じでしたか」の質問に  
回答者全員が「知っているものがない」と回答

## 調査結果からの判明した課題

- ・ 従業員の平均年齢が22歳～23歳なので介護に関する認知度が低い  
(公的介護保険制度や地域包括支援センター等)
- ・ 全従業員のほとんどのご家族・親族が健在であるために今後介護する必要がないと回答したと思われる(興味関心が低い)
- ・ 今後起こりうるかもしれない急病や事故などにおける介護に関しての危機感を持っていない  
(介護は老人介護だけだと思ってる)